



日本化学工業(株)福島第二工場の事故に関連した 阿武隈川合流点の水質分析結果について (第 1 報 : 終報)

10月 1日に発生した日本化学工業(株)福島第二工場（田村郡三春町）の事故に関連し、福島県において周辺環境への影響を把握するため、工場周辺の桜川等の水質を測定した結果、フッ素が環境基準を超えて検出されたとの連絡が福島河川国道事務所へ昨日入りました。

これを受け、昨日（6日）福島河川国道事務所にて桜川及び桜川合流点上下流の阿武隈川から採水し、水質分析を行いました。フッ素の異状は確認されませんでした。

1. 概要

- ・ 10月 1日14時頃 日本化学工業(株)福島第二工場で事故が発生し、フッ素を含む液体が飛散したが工場敷地外への流出は確認されない。
- ・ 事故当日、福島県が周辺環境への影響を把握するため、工場周辺の河川等（桜川等）から採水し、水質測定を実施した。
- ・ 昨日 6日19時頃 福島県から環境基準を超えたフッ素が検出されたとの報告があった。（確認された場所：当該工場から桜川へ流下する水路及び水路と桜川の合流後）
- ・ 本日 7日福島河川国道事務所にて桜川及び桜川合流点上下流の阿武隈川の水質分析を実施し、異状が無い（環境基準値を超えていない）ことを確認した。
（フッ素の環境基準 $0.8\text{mg}/\text{L}$ に対して、分析結果は $0.15\sim 0.16\text{mg}/\text{L}$ である）

2. 対応状況

■10月 6日

- 19:00 福島県より、10月1日に採水した水質試験結果として、工場から桜川に通じる水路で $8.0\text{mg}/\text{L}$ 、水路と桜川の合流後で $1.7\text{mg}/\text{L}$ であり、排水基準の $8.0\text{mg}/\text{L}$ は越えないが、環境基準の $0.8\text{mg}/\text{L}$ は超えて検出されたとの連絡が福島河川国道事務所に入った。
- 21:00 郡山出張所が阿武隈川本川の状況を把握するため、桜川と桜川合流点上下流の阿武隈川で採水を行い、水質分析を開始。（分析結果は、7日午後予定）
- 21:30 郡山出張所が阿武隈川と桜川を巡視し魚のへい死等、河川に異状は確認されない。

■10月 7日

14:00 昨日 6日に採水した水質分析の結果、フッ素は環境基準の 0.80mg/ℓと比較し、0.15~0.16mg/ℓであり、異状は確認されなかった。

<<発表記者会：福島県政記者クラブ、福島市政記者クラブ、郡山記者クラブ>>

【問い合わせ先】

阿武隈川水系水質汚濁対策連絡協議会上流支局
事務局 国土交通省 福島河川国道事務所 河川管理課

TEL 024-546-4331 (代表)

技術副所長 にへい 二瓶 あきひろ 昭弘 (内204)
わたなべ 河川管理課長 渡辺 としひこ 敏彦 (内331)

位置図

発生場所: 福島県田村郡三春町天王前 地内

発生場所から桜川合流点まで 約0.4km

桜川合流点から阿武隈川合流点まで 約7.2km

合計 約7.6km

